

広がる地域運営組織 ジチラボplusに参加して



二月十五日、明石市のジチラボ plus に参加してきました。地域運営組織についてのセミナーです。地域運営組織が全国で広がっています。地域運営組織とは、既存の自治会だけで完結できないことを、自治会や地域で活動する様々な団体同士が連携して、地域の課題を解決していく組織です。

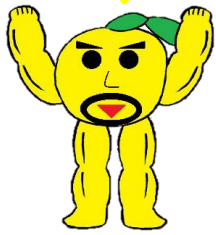
かがやき新聞 三月号



岩陰や水尾では、既存の自治会が十分に機能しているのに、新たに地域運営組織を作る必要はないのかもしれませんが、高齢化の進展によって地域の担い手不足が深刻化することは考えられるので、参考になるかと思っただけで参加してきました。大切なのは、何事も自分たちのことと主体性を持って取り組むことなようです。

- 参考になりそうなこと（抜粋）
- ・地域力（担い手の人口など）を数値化して可視化すること。
- ・組織の統合・・・は難しくても、会合や活動を「同時にする」ということでスリム化が可能。
- ・物的資源から構築するのではなく、地域づくりにかかわる人たちの人間性（モチベーション、当事者意識）の向上↓共感（汗）を生む良好な関係性・仕組み作り↓物的資源（ハード）の整備、で行うこと。

主体性が大事やで。



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二一五 岩陰出張所
電話 〇七七一 四四 〇三一四

発表 上手になりました

岩陰キラキラ Talking Time



二月五日、岩陰小中学校の児童・生徒による発表会でした。この日は他校の先生方による研修会でもあり、多くの先生方が見に来られておりました。

子どもたちはそれぞれ、岩陰の草花や、修学旅行で訪れた広島銅像、学区探検で訪れた嵯原特産物加工部さんや越畑フレンドパークまつばらさんのことなどを、元氣よく工夫をこらして発表していました。今年全部参加させていたいただきましたが、回数を重ねるごとに発表が上手になっていく様子がよくわかりました。来年度も楽しみにしています。

こんなに人がいるのによくやるなあ・・・



今の時代、ラジオはどうあるべきか

NPO法人京都コミュニティ放送意見交換会



普段、「京の田舎暮らしだより」でお世話になっている京都三条ラジオカフェのNPO法人京都コミュニティ放送の意見交換会に参加させていただきました。

SNSが発展しつつある今の時代のラジオがどうあるべきか。ラジオは一定の地域とは言え、不特定多数の人に発信できる強みがあります。

街中の人に「京の田舎」を発信するためにも私も面白い番組作りを心掛けております。最近「モノマネ」を入れたりするなど、親しみやすさを全面に押し出しています。地域の方からも番組に参加したいという方がおられれば、大歓迎です。

隊員レギュラー出演
「京の田舎暮らしだより」
京都三条ラジオカフェ
FM 79.7MHz
毎月、第2、第4火曜日
12:00 ~ 12:06
3月は10日と24日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>

↑ここから聴けます！



時間足りないゾ。

面白くするために落語を一席。寿限無寿限無、五劫のすり切れ、海砂利水魚の水行末・・・

ありがとうございました

京都マラソン2020年

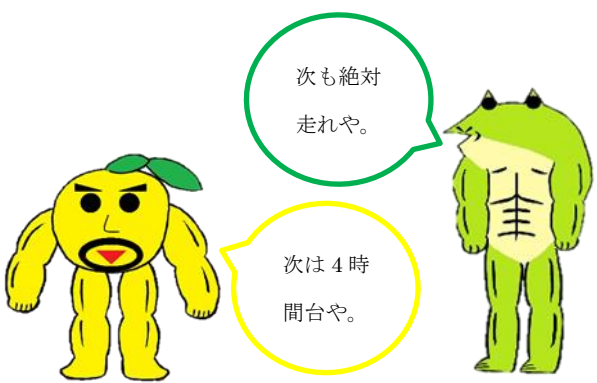


一月十六日に京都マラソン2020が行われました。沿道ボランティアの皆様、雨の中ありがとうございました。

完走できましたのも、沿道ボランティアの皆様のサポートのおかげです。深く感謝しております。

完走後、しばらくは思うように体が動かず、杖をつけて歩いておりました。来年は沿道ボランティアか応援にしようかと思えます(笑)。

来年は晴れると良いですね。



次も絶対走れや。

次は4時間台や。

日の要慎

▽京都マラソンを終えて、久々に献血に行った。日常的に鉄剤を補給していたので貧血症状は回復して、無事に献血を済ませた。時間があつたので献血ルームのサービスで手相を見て貰うことにした。

▽占い師さんからは行動的であること、ぶつ飛んだところがあるところが手相に出ていくという。人が思いつかないようなことを思いつく能力があるという。確かに、思い当たる節はある。

▽ただ、現実を見るとなかなかアイデアが出にくい。予算やマンパワーがない、といった現実を見ると思考がストップしがちだ。いったん、そうした現実を無視して考えてみるべきなのかもしれない。

▽占い師さんからは、「ダメな人を好きになるところがある？」と指摘された。人間誰しも長所・短所がある。ただ、感謝の気持ちのない人、生き物の命を大切にしない人を好きになることは絶対ない。自戒の意味を込めて。